

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、此の度、下記項目の検査受託を開始することになりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

[ 2021 ] シスタチンC

### 受託開始日

平成18年1月4日(水)

# シスタチンC

シスタチンCはシステインプロテイナーゼ・インヒビター機能を有する分子量13kDaの塩基性蛋白質で、全身の臓器・組織の有核細胞において、細胞内外の環境変化の影響を受けずに、常に一定量が産生・分泌されます。細胞外に分泌されたシスタチンCは腎系球体で濾過され、近位尿細管から再吸収されるため、腎機能の悪化に伴いその血清中濃度は増加します。

糸球体濾過量( GFR )の指標としては、現在、血清クレアチニンやクレアチニン・クリアランス( CCR )がよく用いられています。しかしながら、クレアチニン産生量が筋肉総量と比例するため、クレアチニン値は性別・年齢等の影響を受けること、またCCRの場合には精度よく蓄尿する必要があり、外来診療で実施しづらいという難点がありました。これに対してシスタチンCは年齢・体格差の影響を受けず、GFRの良い指標となることが報告されています。

## 検査要項

項目コード	2021
検査項目名	シスタチンC
検体量	血清 0.3mL
保存方法	冷蔵
検査方法	ネフェロメリー法
基準値	M:0.63 ~ 0.94 mg/L F:0.53 ~ 0.83
所要日数	2 ~ 8日
検査実施料	130点
検査判断料	155点( 生化学的検査 )
定 価	2,350円
備 考	尿素窒素( BUN )又はクレアチニンにより腎機能低下が疑われた場合に、3月に1回に限り算定できます。 ただし、肝及び腎のクリアランス( 尿素又はクレアチニンを用いたクリアランステストに限る。 )を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定となります。

## 主な対象疾患

糸球体腎炎

## 関連検査項目

クレアチニン  
クレアチニン・クリアランス

## 検査法参考文献

樋口裕子, 他 : 機器・試薬 28 : 151-156, 2005.